【重度障がい児支援　花色】　事業者むけ自己評価表結果

株式会社　湧心

（令和７年４月～令和８年３月迄）

在職職員（正・パ）１１名中１０名回答（一人療養中）

チェック項目	はい ○	わからない （無回答）	いいえ ×	工夫点	職員間の改善目標他
環境・体制整備					
子どもの活動等のスペースが充分確保されているか	90%	10%		広さに限りがありますが、ｽﾍﾟｰｽを確保しながら活動しています。	
職員の配置数は適切数以上であるか 重症児デイ必要数　各１名以上 （管理者・児発管・保育士・看護師・機能訓練担当職員）	100%				
設備等について、バリアフリー化の配慮等が適切になされているか	100%			スロープをつける等、工夫しています。	
業務改善					
Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Action（改善）サイクルに則り、計画や相談に加わっているか	100%				
活動において５領域に沿い、健康状態や発達について、いつ、どこで、どのように支援し、どうであったか、何を結びつけていきたいかを日々記録しているか	100%				

【重度障がい児支援　花色】　事業者むけ自己評価表結果

株式会社　湧心

（令和７年４月～令和８年３月迄）

保護者の意向等を把握し、評価をし、業務改善につなげているか	100%				
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	100%				
事業所は資質の向上にむけた研修を行っているか	100%				
自己研鑽のために支援向上にむけた学びを行っているか	100%				
当法人の理念を理解し、発達支援や業務に結び付けているか	100%				
適切な支援の提供					
面接や聞き取りを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、個別支援計画を作成しているか	100%				定期的な面談を行っています。
個別支援計画には「５領域の発達支援」「家族支援」「地域支援」が具体的に設定されているか	100%				
個別支援計画に沿った支援を日々行っているか	100%				
チームで、具体的支援内容を話し合っているか	100%				ﾐｰﾃｨﾝｸﾞ等で行っています。
活動プログラムが固定化しないように工夫をしているか	100%				週毎に、活動内容を変えています。 但し、繰り返し行う工夫をしています。

【重度障がい児支援　花色】　事業者むけ自己評価表結果　　株式会社　湧心

（令和７年４月～令和８年３月迄）

平日・休日・長期休暇に応じて課題をきめ、細やかに設定して支援しているか	100%				
子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ個別支援計画を作成しているか	100%				
支援開始前に職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容・役割・時間配分を確認しているか	100%				朝礼で多職種の動きを確認しています。
支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか	100%				
日々の発達支援を客観的に正しく記録をとり、支援の検証や改善につなげているか	100%				
定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%				正職員を主に、全職種で行っています。
ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	100%				
保護者や関係機関との連携					
担当者会議には、その子どもの状況に精通した最もふさわしい職員が参画しているか	100%				
関係機関と情報を共有し、連携した支援を行っているか	100%				リハ職としては機会が少ないが、全体を通して必要な時に、とることができているのではないかと思っています。
学校との情報共有、連絡調整（送迎時の対応等）を必要に応じて行っているか	100%				送迎時に先生に尋ねているが、本日の状態がわからない先生もいるので工夫が必要。

【重度障がい児支援　花色】　事業者むけ自己評価表結果　　株式会社　湧心

（令和７年４月～令和８年３月迄）

在宅支援のために地域の関係機関と連絡体制を整えて支援しているか	100%				
医療的ケアや体調状況について主治医や協力医療機関等と連携体制を整えているか	100%				
専門機関（所属する団体）と連携し、助言や研修を積極的に受けているか	100%				
障がいのない子どもたちと交流や活動する機会があるか	100%				医療的ケア児ですので、ケアのタイムスケジュール等により、すべての子が交流する機会というのは現状は難しく感じますが、交流の機会はつくっています。保護者様の「希望する。」「感染対策のため希望しない。」等を考慮しています。
地域交流を定期的にはかっているか	100%				毎月行っており、楽しんでもらえている。
日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、発達の状況や課題について共通理解をもっているか	100%				
保護者の障害に対する対応方法や育児についての助言を定期的に行う機会を設けているか （医ケア、健康、療育、関わり方、リハビリ等）	100%				定期的ではないが、適宜お伝えしながら関わっております。
保護者への説明責任等					
運営規定、委員会、活動、利用者負担等について丁寧な説明をしているか	100%				

【重度障がい児支援　花色】　事業者むけ自己評価表結果　　株式会社　湧心

（令和７年４月～令和８年３月迄）

ガイドラインの提供すべき支援のねらいに基づき、個別支援計画書を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	100%				
(きょうだい児を含む)子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%				相談がある時に傾聴できていると思います。
茶話会・レクリエーション等の保護者の集うイベントを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%				
子どもや保護者からの相談や申し入れに対して迅速に対応しているか	100%				SNS 対応しており、連絡がきたら職員間で共有しています。
定期的に通信等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信しているか	100%				
個人情報の取り扱いに十分注意しているか	100%				
子どもの意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%				
事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか	100%				
非常時の対応					
緊急時、感染、虐待、災害においての体制整備やマニュアル等を策定し、発生を想定した必要な訓練を実施しているか	100%				研修が定期的にあります。日常で困りそうな事例を掘り下げると個々がもっと緊急時の対応力がつくと思います。

【重度障がい児支援　花色】　事業者むけ自己評価表結果

株式会社　湧心

（令和７年４月～令和８年３月迄）

定期的に避難訓練や救出訓練を地域と共に行っているか	100%				
子どもの体調把握や状況を保護者と共に共通理解しているか	100%				
食物他アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%				
ヒヤリハットを集計して事業所内で共有しているか	100%				報告や、まとめはあるが、都度ヒヤリハットが発生したときに話し合い、共有の場を設ける必要があると考えます。
虐待を防止するため、適切な対応や研修をしているか	100%				もっと研修の機会を増やしても良いのではないか。
どのような場合に身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、十分な研修と説明を行った上で、個別支援計画に記載しているか	100%				現在、花色では身体拘束が必要な児童はおりません。しかし、強度行動障害の専門講習は齊藤が受けております。

※　職員一同、より良い支援にむけて努力していきます。今後とも宜しくお願い致します。